

第10回 タンゴ 1 と マンボ 2

1. クイックステップ、ワルツ、ブルースの復習をする。
2. タンゴの説明（ポジション、ホールドなどはフィガーの後で説明する）。
 - ①. 壁に ウォーク 2 歩、プログレッシブ・リンク、クローズド・プロムナードを教える。（タンゴの初級グループは 3 番まで全て、S.S.Q.Q.S.Q.Q.S. となっている）これを「1 番」と称する。意味は説明しなくて良いから、スタートは壁斜めではなく、壁に向かって足が前進することを注意しておく。
 - ②. 壁斜めに、ウォークを 2 歩、男子が回り込み ロック・ターン を続ける。これを「2 番」とする。（同じく、S.S.Q.Q.S.Q.Q.S. の 3 小節である）
 - ③. 出来る様になったら、ロック・ターン の 1～4 で右へ回転しないで、終わりを中央斜めにとり、新しい LOD に 1 番へ続ける。
 - ④. 1 番、2 番を二回踊り、1 番を踊り、バック・コルテを踊って基に戻る。
 - ⑤. 「1 番」の クローズド・プロムナード の後、直ぐに後退して バック・コルテを踊り、新しい壁に終わる様にするると新しい L.O.D の初めに戻れる。
 - ⑥. タンゴのポジションとホールドを教える。「ボールルーム・テクニク」の 118 頁の「タンゴのポジションとホールド」を易しく、簡単に教える。但し、ウォークで左にカーブする事は教えなくてもよいが、プログレッシブ・リンクの第 1 歩目を右足の前にとり、2 歩目は P.P. で横少し後にとることが重要である。悪い癖、例えば第 1 歩目の左脚を斜め前にとる人、第 2 歩目を右足に揃えてとる人などが多く目につく。早めに直すことが重要である。
 - ⑦. タンゴの曲に合わせて何度も踊らせる。ルーティンは部屋の大きさによって異なるであろうが。「1 番」と「2 番」そして「バック・コルテ」の組み合わせで L.O.D. に沿って部屋を回れる様にする。（指導者は、予めルーティンとその部屋に合わせて作っておく必要がある）
 - ⑧. タンゴは揃える ステップ が Q.Q. ではなく、Q.S. であることを良く理解させておく。ブルースのプロムナードは「S.S.Q.Q.」だったが、タンゴでは「S.Q.Q.S.」である。
3. マンボ をリードして踊ろう。
 - ① 左手で女子の右手を取り、オープン・ヒップ・ツイスト を 2 回 踊る。
最初は向かい合い、2 度目はファン・ポジションになり、ホッキー・ステイック、ニューヨーク（3 小節）スポット・ターンを踊り、離れた組み方に。